

# お茶

## 緑茶と紅茶 実は同じ木の葉？



緑茶と紅茶、色も味も違いますが、実は同じ木の葉から作られるんです。でも、同じお茶の木から作ることができると、意外でしよう。お茶の木、中国原産の「ツバキ」に近い植物ですので、お茶のふるさとには中国とあります。日本には西暦800年頃、ヨーロッパには1600年頃に伝わりましたが、最初は緑茶でした。紅茶が赤くなるの



は、新芽の細胞が壊れて「ポリフェノールオキシダーゼ」という酵素が働いて、「テアフラビン」などと呼ばれる赤い成分がつくられるためです。緑茶の場合は最初に加熱するので、「ポリフェノールオキシダーゼ」を壊してしまつたため、色が変わりません。紅茶のように

酵素を働かせてつくるお茶を「発酵茶」、緑茶のように酵素を働かせずつくるお茶を「不発酵茶」と呼びます。ウーロン茶は緑茶と紅茶の中間（半発酵茶）になります。イギリス人はウーロン茶を参考に紅茶を作ったようです。

